

自由闊達に議論しあえる雰囲気づくり、業務の効率化を心がけて



中国四国管区行政評価局総務行政相談部主任行政相談官（鳥取行政監視行政相談センター勤務）

大崎 剛

平成15年 4月 中国四国管区行政評価局採用
16年 4月 本省（行政評価局）勤務
18年 4月 島根行政評価事務所（現島根行政監視行政相談センター。以下同）勤務
21年 4月 鳥取行政評価事務所勤務
24年 4月 山口行政評価事務所勤務
27年 4月 島根行政評価事務所勤務
29年12月 中国四国管区行政評価局勤務
31年 4月 本省（行政評価局）勤務
令和 2年 4月 現職

～これまでの業務の経験を振り返って～

【20代】

総務大臣が委嘱する行政相談委員の活動の支援や、行政相談委員と協働して行政相談のPR活動を行うなどの業務を行いました。無償のボランティアとして活動されている行政相談委員が、地域のため、住民のために熱心に活動される姿に感銘を受けたことは、今でも貴重な財産になっています。

【30代】

行政相談や、行政相談委員からの意見を基に、後期高齢者医療制度や、住民税に係る行政上の課題について、総務省が設置する有識者会議である「行政苦情救済推進会議」の検討も踏まえ関係府省に改善のあっせんを行いました。行政相談に寄せられる一つの「声」が、行政運営の改善につながっていくことを実感できたことは、大変感慨深いものでした。

現在の業務内容、管理職員として心掛けていること

鳥取行政監視行政相談センターで行政相談業務に従事し、日々寄せられる様々な相談に対し、4人の職員で対応しています。

一緒に仕事をする職員が自由闊達に議論する雰囲気作りとともに、職員の皆が仕事の質を高めながらもプライベートを充実させられるよう、業務の効率化や、職員がテレワークによる業務を行うことを推奨するよう心掛けています。

Q 管区行政評価局の業務のやりがいについて教えてください

A 行政相談や調査を通じて、様々な場所に足を運び、また関係者から話を聞くことを通じて気づいた問題点が、行政の制度・運営の改善に結びつくところです。

Q 当局の職員として大事な要素は何ですか？

A 一人の国民として、様々な問題に関心を持つことです。

「こうしたら、もっと良くなる、無駄が省ける」など皆さんが持つ問題意識の一つ一つが、行政の制度・運営の改善の第1歩となります。

受験生に向けてメッセージをお願いします！

行政評価局は、国民に信頼される質の高い行政を実現するため、行政相談や調査といった業務を通じて、様々な分野の行政を改善することを目指しています。興味をお持ちの方は、是非、当局の官庁訪問にお越しいただき、私たちの話を聞いてみてください。